

教育研究業績

論文

ケプラーにおける調和論の諸問題	単著	1969 年	『物理学史研究』第4巻第3 - 4号: 17-32
学習秩序と集団思考を生み出す競争・論争	単著	1976 年	『現代教育科学』2月号(明治図書) pp.82-84
学習リーダーをめぐる疑問点を解明する	単著	1976 年	『授業研究』10月号(明治図書) pp.71-79
実践記録との出会いと授業観の変革	単著	1978 年	『現代教育科学』2月号(明治図書) pp.92-94
読みの「方法」と読みの「武器」	単著	1980 年	『現代英語教育』2月号(研究社出版) pp.20-22
知的好奇心をかきたてる英文法	単著	1980 年	『現代英語教育』6月号(研究社出版) pp.8-10
進学校における英語教育	単著	1982 年	『現代英語教育』3月号(研究社出版) pp.8-10
母国語の基礎学力と外国語の学習	単著	1982 年	『金沢大学教育学部教科教育研究』第 18 号、pp.157-178
英語教育における「読み」の位置	単著	1983 年	『中部地区英語教育学会紀要』第 12 号、pp.103-113
底辺校における英語教育	単著	1983 年	『現代英語教育』3月号(研究社出版) pp.42-44
英語教育の構造:何をどんな順序で教えるか	単著	1983 年	『金沢大学教育学部教育工学研究』第9号、pp.47-52
文章の構造と「読み」の指導	単著	1984 年	『中部地区英語教育学会紀要』第 13 号、pp.165-170
高校英語 I の創造的な扱い方	単著	1984 年 — 1985 年	『新英語教育』連載(三友社出版) 毎号3頁
二分法と談話標識	単著	1984 年	『金沢大学教育学部教科教育研究』第 20 号、pp.297-314
母国語の書く力と英語の自己表現	単著	1985 年	『中部地区英語教育学会紀要』第 14 号、pp.100-105
Grammar and Phonics through English Songs	単著	1985 年	『英語教育』3月号(大修館書店) ,pp.38-39
英音法におけるリズムの指導	単著	1985 年	『中部地区英語教育学会紀要』第 15 号、pp.100-105
英音法における「音の化学変化」の指導	単著	1986 年	『中部地区英語教育学会紀要』第 16 号、pp.152-157
Reading and Writing through Contrastive Study of Expository Prose	単著	1986 年	『岐阜大学教養部研究報告』第 号、pp.211-223
英音法における単語発音の指導	単著	1987 年	『中部地区英語教育学会紀要』第 17 号、pp.105-111
The Model Structure of Expository Prose: Letters to and from Robert B. Kaplan	単著	1988 年	『岐阜大学教養部研究報告』第 号、pp.109-134
ETM (English Through Music) による英音法の指導:その教育方法学的研究	単著	1988 年	『岐阜大学教養部研究報告』第 号、pp.135-156

ETM (English Through Music) による英音法の指導:その音声学的研究	単著	1988 年	『Meilensteine』3号(岐阜大学教養部ドイツ語研究室) pp100-120
「リズムよみ」の指導:教材の特徴と指導原理	単著	1988 年	『中部地区英語教育学会紀要』第18号、pp.120-125
英語教育における「表現よみ」の意義	単著	1989 年	『岐阜大学教養部研究報告』第1号, pp.179-202
教材としての『独裁者』	単著	1989 年	『Helicon』第1号(岐阜大学教養部英語研究室)、pp.97-128
フォニックスによる発音指導と分節法	単著	1989 年	『中部地区英語教育学会紀要』第19号、pp.145-151
単語発音における Top-down Approach	単著	1990 年	『英語英文学新潮』(NCI 論叢 1990 年版)、pp.443-453
『独裁者』の英音法	単著	1990 年	『岐阜大学教養部研究報告』第1号, pp.206-211
総合的英語教授法をめざして	単著	1990 年	『中部地区英語教育学会紀要』第20号、pp.206-211
『アンネの日記』を読む:英語教師のための読解 ミナー	単著	1990 年	『新英語教育』11月号(三友社出版)、pp.33-37
英語自己表現の指導	単著	1991 年	『岐阜大学教養部研究報告』第1号, pp.235-272
「合わせ文字」の構造と単語発音指導	単著	1991 年	『Helicon』第2号(岐阜大学教養部英語研究室)、pp.111-135
自主教材を批評する:三つの教材、三つの指導	単著	1992 年	『現代英語教育』2月号(研究社出版)、pp.11-13
I HAVE A DREAM の Authenticity	単著	1992 年	『岐阜大学教養部研究報告』第1号, pp.177-231
日本語を土台にした英語子音の発音指導 : Inner Game of English Teaching	単著	1993 年	『岐阜大学教養部研究報告』第1号, pp.45-67
異文化理解の方法(1):ジョン・レノンの IMAGINE をどう読みどう指導するか	共著(寺島隆吉、寺島美紀子)	1994 年	『岐阜大学教養部研究報告』第1号, pp.135-176
生活指導と英語教育	単著	1994 年	『現代英語教育』創刊 30 周年記念特集号(研究社出版)、pp.72-75
服装指導と英語教育	単著	1994 年	『現代英語教育』10月号(研究社出版)、pp.20-26
異文化理解の方法(2):イーグルスの HOTEL CALIFORNIA とアメリカ 60 年代	単著	1994 年	『岐阜大学教養部研究報告』第1号, pp.95-137
つまづく教師とともに	単著	1995 年 — 1996 年	『現代英語教育』4月号(研究社出版)、連載 13 回、毎回3ページ
「量」の教育哲学:作文指導を一つの例として	単著	1996 年	『現代英語教育』8月号(研究社出版)、pp.12-15
「量」の指導と「量」の評価:英語教育における「量」 の教育哲学	単著	1996 年	『岐阜大学教養部研究報告』第1号, pp.165-197
私の英語教育研究論	単著	1997 年	『現代英語教育』2月号—7月号(研究社出版)、連載 6 回、毎回5ページ
島岡丘「近似カタカナ表記システム」批判	単著	1997 年	『岐阜大学教育学部研究報告:人

			文科学』第 46 巻第 1 号、 pp.101-130
英語教育の中の国際理解教育	単著	1998 年	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 46 巻第 2 号、 pp.161-182 (『英語学論説資料』第 32 号、 第 4 分冊『音韻・比較研究』 2000 : 220-234. に再録)
英語教育の中の国際理解教育: DEAR AMERICA を例にして	単著	1998 年	『国際理解教育』(国際理解教育学会)第 4 号: 76 - 89 (『教育学論説資料』第 18 号、 第 5 分冊『教育内容・方法』 2001 : 557-567. に再録)
大学における教育実践、その研究の重要性	単著	1999 年	『岐阜大学教育学部研究報告:教育実践研究』第 1 巻: 151 - 159
国際理解教育の探求: ロックで学ぶ人権・環境・平和	単著	1999 年	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 47 巻第 2 号: 251 - 286
教科指導と生活指導をつなぐもの: 教育実践学の探求(1)	単著	2000 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:教育実践研究』第 2 巻: 173 - 189 (『教育学論説資料』第 20 号第 3 分冊「学校論・教師論」 2003 : 300 - 308. に再録)
国際理解教育と平和研究(上): 国連「“平和の文化”国際年」に寄せて	単著	2001 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 49 巻第 2 号: 117 - 139.
私の教育原理と「遅れがちな生徒」の指導: 教育実践学の探求(2)	単著	2001 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:教育実践研究』第 3 巻: 181 - 204.
国際理解教育の授業をどうつくるか: 国連「“平和の文化”国際年」に寄せて	単著	2001 年 6 月	『国際理解教育』第 7 巻
絵本を教材とした小学校における国際理解教育	共著(寺島隆吉、曾根寛子)	2002 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:教育実践研究』第 4 巻: 155 - 179.
Peace Education in the United States	共著(Ngyen My Chau、))	2002 年 11 月	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 51 巻第 1 号: 117-147
国際理解教育と日系ブラジル人児童の教育(上)	共著(寺島隆吉、河田素子)	2003 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:教育実践研究』第 5 巻: 113 - 140. (『教育論説資料』第 23 号第 5 分冊、 2006 : 932 - 945. に再録)
国際理解教育と日系ブラジル人児童の教育(下)	共著(寺島隆吉、河田素子)	2003 年 11 月	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 52 巻 1 号: 63 - 96.

			(『教育論説資料』第 23 号第 5 分冊、2006 : 946 - 962 . に再録)
マイノリティの視点から見た国際理解教育: 特 日韓国朝鮮人の教育・生活・人権(上)	共著(寺島隆吉、佐藤聡美、大津由以子)	2004 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 教育実践研究』第 6 巻: 127 - 173 .
マイノリティの視点から見た国際理解教育: 在 日韓国朝鮮人の教育・生活・人権について(下)	共著(寺島隆吉、佐藤聡美、大津由以子)	2004 年 11 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 人文科学』第 53 巻第 1 号: 91 - 147
小学校の英語教育を考える: 金森強『英語力幻想: 子どもが変わる英語の教え方』をめぐって	単著	2005 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 人文科学』第 53 巻第 2 号: 91 - 147
英語入門期における単語発音の指導	共著(寺島隆吉、小川勇夫)	2005 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 教育実践研究』第 6 巻: 157 - 180 .
日本の言語政策と学校教育	単著	2005 年 10 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 人文科学』第 54 巻第 1 号: 107 - 141
英語教育の目的と方法	単著	2005 年 10 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 人文科学』第 54 巻第 1 号: 143 - 176
英語教師の「三つの仕事」「三つの危険」(上)	単著	2006 年 2 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 人文科学』第 54 巻第 2 号: 71 - 90
動詞の意味を学ぶ授業書: get と turn の考察	共著(寺島隆吉、山田昇司)	2006 年 2 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 教育実践研究』第 8 巻: 127 - 148
英語教師の「三つの仕事」「三つの危険」(下)	単著	2006 年 10 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 人文科学』第 55 巻第 1 号: 137-169 (『教育論説資料』第 40 号に再録)
英語にとって「読み」とは何か(「構造読み」「形象読み」「主題読み」をめぐって)	単著	2006 年 10 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 人文科学』第 54 巻第 2 号: 106-136 (『教育論説資料』収録論文一覧第 40 号に再録)
アメリカ市民のブッシュ批判	単著	2007 年 1 月	季刊『現代の理論』第 10 巻(2007 年春号): 50-61
少数者(マイノリティ)の視点から見た国際理解教育(3) - 在日韓国朝鮮人の韓国留学	共著(寺島隆吉、小池美也子)	2006 年 2 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 教育実践研究』第 9 巻: 95-118
権力に対抗する米国の市民メディア	単著	2007 年 7 月	季刊『現代の理論』第 12 巻(2007 年夏号): 104-114
英語教育の水源地を求めて: 逆転発想の英語教育	単著	2007 年 10 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 人文科学』第 56 巻第 1 号: 141-152
レポートおよび卒論・の書き方～どんな調査・研究が評価されるべきか	単著	2008 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告: 教育実践研究』第 10 巻: 147

			- 168
「国際英語」教授法と記号研方式	共著 (寺島 & 玉木 智)	2008 年 10 月	『岐阜大学教育学部研究報告：人文科学』第 56 巻第 1 号：101-162
国際理解と英語教育	単著	2009 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告：人文科学』第 57 巻第 2 号：101-162
英語にとって政治とは何か	単著	2009 年 3 月	『岐阜大学教育学部研究報告：
Tense・Aspect・Voice の認識と指導	共著 (寺島 隆吉、寺島 美紀子)	2009 年 10 月	『岐阜大学教育学部研究報告：人文科学』第 58 巻第 1 号：103-146
言語習得研究と英語教育の新展開：「時制」「相」の思考実験を指導に生かす (上)	共著 (寺島 隆吉・後藤 幸子)	2009 年 2 月	『岐阜大学教育学部研究報告：人文科学』第 58 巻第 2 号：103-146
言語習得研究と英語教育の新展開：「時制」「相」の思考実験を指導に生かす (下)	共著 (寺島 隆吉・後藤 幸子)	2009 年 2 月	『岐阜大学教育学部研究報告：教育実践研究』第 12 巻：149-238
大学における英語教育を再考す。果たして英語力=研究力、英語力=経済力、英語力=国際力か	寺島隆吉	2011 年 11 月	日本フランス語教育学会『紀要』Vol.6, No.2, 2011：166-72
フランス語教師は “英語一極化” に抗して何が出来るか	寺島隆吉	2012 年 11 月	日本フランス語教育学会『紀要』7巻2号：2012, 85-109
論点：英語の授業どうあるべきか — 全員が話せる必要はない	寺島隆吉	2013 年 5 月	毎日新聞インタビュー (05/31)
「外国人教員」「英語で授業」は何をもたらすか」前編 (2013.11.16)	寺島隆吉	2013/11/16	京都大学新聞インタビュー「グローバル時代の英語を考える」前編
「外国人教員」「英語で授業」は何をもたらすか」後編 (2014.02.16)	寺島隆吉	2014/02/16	京都大学新聞インタビュー「グローバル時代の英語を考える」後編
「世界ランキング 10 位に入る大学をめざす」という方針は、なぜ間違いか	寺島隆吉	2014/03/16	京都大学新聞インタビュー「グローバル時代の英語を考える」を終えて
争論：大学生は英語で学べ？「深い思考奪い、想像の芽摘む」	寺島隆吉	2014/07/03	朝日新聞インタビュー (07/03)
亡国の英語教育 — 小学校英語の「教科化」と中学校英語の「英語で授業」を考える」	寺島隆吉	2014 年、春号	『教育と文化』75 号 (2014 年春号) 22-35 頁
「英語で授業」が進行させる「一億総白痴化」	寺島隆吉	2014 年 9 月	『新潮 45』2014 年 9 月号：47-51
大学の「国際化」は、「創造的研究者」「グローバル人材」を育てるか	寺島隆吉	2015 年 1 月	『長周新聞』連載 9 回、1 月 7 日～1 月 26 日
英語の学力低下は、誰がもたらしたのか — 高 3 英語力は中卒程度 (上・下)	寺島隆吉	2015 年 4 月	『長周新聞』連載 2 回 4 月 13 日、4 月 20 日
英語力は科学力を育てるか (上) (中) (下)	寺島隆吉	2015 年 6 月	『長周新聞』連載 3 回、2015/06/17、06/19、06/22、
暴力、それはアメリカの生活様式だ (上) (中) (下)	寺島隆吉	2015 年 7 月	『長周新聞』連載 3 回、2015/07/20、07/22、07/24、
「英語が話せないのは日本人だけ」という神話	寺島隆吉	2015 年 9～10 月	『長周新聞』連載 10 回、2015/09/21～2015/10/12
「時代は変わる」 The Times They Are a-Changin	寺島隆吉	2015 年 12 月	『長周新聞』2015/12/21
続「時代は変わる」 The Times They Are a-Changin	寺島隆吉	2016 年 1 月	『長周新聞』2016/01/22

* 記号研 HP 『月刊メルマガ』に掲載論文は別掲「記号研機関紙掲載論文」を参照

著書

学習集団形成のすじみち	単著	1976 年	明治図書
教育英文法の基礎	分担執筆	1983 年	三友社出版
つまづく生徒とともに	分担執筆	1984 年	三省堂
意欲を育てる高校英語の授業	分担執筆	1985 年	三友社出版
英語にとって学力とは何か	単著	1986 年	三友社出版
授業を成立させる	分担執筆	1988 年	三友社出版(國弘正雄監修『新英語教育講座』第3巻)
英語音声の授業をつくる	分担執筆	1988 年	三友社出版(國弘正雄監修『新英語教育講座』第 14巻)
授業を支える:授業過程と教授法(3)	分担執筆	1988 年	三友社出版(國弘正雄監修『新英語教育講座』第 15巻)
英語にとって授業とは何か	単著	1989 年	三友社出版
読みの指導と英文法	編著	1990 年	三友社出版(シリーズ『授業の工夫』第2巻)
音声の指導と英音法	編著	1990 年	三友社出版(シリーズ『授業の工夫』第3巻)
授業の組立てと指導	編著	1991 年	三友社出版(シリーズ『授業の工夫』第4巻)
中学校英語授業への挑戦	編著	1991 年	三友社出版(シリーズ『授業の工夫』第5巻)
英語記号づけ入門	単著	1991 年	三友社出版(シリーズ『授業の工夫』第1巻)
英語授業実例事典Ⅱ	分担執筆	1994 年	大修館書店
核兵器のない世界へ	共訳	1995 年 11 月	かもがわ出版
ロックで学ぶ英語のリズム	単著	1996 年	あすなろ社／三友社出版(第2巻)
キングで広がる英語の世界	単著	1996 年	あすなろ社／三友社出版(シリーズ『英語音声への挑戦』第3巻)
チャップリン「独裁者」の英音法	単著	1996 年	あすなろ社／三友社出版(シリーズ『英語音声への挑戦』第6巻)
チャップリン「表現よみ」への挑戦	単著	1997 年	あすなろ社／三友社出版(シリーズ『英語音声への挑戦』第5巻)
ロックで広がる英語の世界	単著	1997 年	あすなろ社／三友社出版(シリーズ『英語音声への挑戦』第1巻)

キングで学ぶ英語のリズム	単著	1997 年	あすなろ社／三友社出版(シリーズ『英語音声への挑戦』第4巻)
国際理解の歩き方	単著	2000 年5月	あすなろ社／三友社出版
英語にとって音声とは何か	単著	2000 年5月	あすなろ社／三友社出版
英語にとって文法とは何か	単著	2000 年5月	あすなろ社／三友社出版
魔法の英語	編著	2001 年 8 月	あすなろ社／三友社出版
英語にとって評価とは何か	単著	2002 年 4 月	あすなろ社／三友社出版
英語にとって教師とは何か	単著	2002 年 4 月	あすなろ社／三友社出版
授業はドラマだ:生徒がかわる、教師がかわる	監修	2002 年 8 月	あすなろ社／三友社出版
衝突を超えて: 911 後の世界秩序	監訳	2003 年 5 月	日本経済評論社 (日本図書館協会選定図書)
セ (マル) セで、英語が好き ! に変わる本	共著	2004 年 4 月	中経出版 (全国学校図書館協議会選定図書)
チョムスキー 21 世紀の帝国を語る	翻訳	2004 年 5 月	明石書店
アフガニスタン、悲しみのポートレート(肖像画)	共訳	2004 年9月	明石書店
小学校での英語教育は必要ない	共著	2005 年 5 月	慶應義塾大学出版会
授業は発見だ:生徒がかわる、教師がかわる	監修	2005 年9月	あすなろ社／三友社出版
チョムスキーの教育論	共訳	2006 年 2 月	明石書店
授業はトキメキ:生徒がかわる、教師がかわる	監修	2006 年 5 月	あすなろ社／三友社出版
小学校での英語教育は必要ない (改訂版)	共著	2007 年 1 月	慶應義塾大学出版会
英語教育原論	単著	2007 年 8 月	明石書店(総頁数 281)
2008 年版学習指導要領を読む視点	共著	2008 年 8 月	白澤社／現代書館(総頁数 219)
英語教育が亡びるとき:「英語で授業」のイデオロギー	単著	2009 年 9 月	明石書店(総頁数 326)
ハワード・ジン&アンソニー・アーノブ『肉声でつづる民衆のアメリカ史』上・下、2 巻	共訳	2012 年 6 月	明石書店(各巻 700 頁弱)
英語で大学が亡びるとき—「英語力＝グローバル人材」というイデオロギー	単著	2015 年 11 月	明石書店(357 頁)、発売 11月30日

教材

The Big Turnip	単著	1985 年	三友社出版
Singing Out, Vol.1-2	単著	1986 年	三友社出版
Singing Out, Vol.3	単著	1987 年	三友社出版
The House That Jack Built	単著	1987 年	三友社出版
The Great Dictator	単著	1987 年	三友社出版
I Have A Dream	単著	1989 年	三友社出版
Anne Frank: The Diary of a Young Girl	単著	1989 年	三友社出版
高校英語 I 問題集	編著	1991 年	三友社出版
セン (マル) センで、英語が好き ! に変わる本	共著	2004 年	中経出版

事典・書評その他

英語授業実例事典Ⅱ、	分担執筆	1994 年	大修館書店、 pp.140-143、
チョムスキーと国際理解教育とコンボ紛争:「多文化平和コミュニケーション研究」序論	単著	1999 年 10 月	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 48 巻第1号: 137-152
チョムスキーと国際理解教育と東チモール問題:「多文化平和コミュニケーション研究」序論(2)	単著	2000 年3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 48 巻第2号: 105-123
チョムスキーと国際理解教育とアフガン戦争:「多文化平和コミュニケーション研究」序論(3)	共著(寺島美紀子)	2002 年3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 50 巻第2号: 97-133
チョムスキー『“ならず者国家”と新しい戦争』(塚田幸三・訳、荒竹出版、2002)をめぐって	単著	2002 年6 月	『国際理解教育』第 8 巻: 168-173.
チョムスキーと国際理解教育とイラク情勢:「多文化平和コミュニケーション研究」序論(4)	共著(寺島隆吉、岩間龍男、寺島美紀子)	2003 年3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 51 巻第2号: 309-332.
チョムスキーと国際理解教育とイラク戦後:「多文化平和コミュニケーション研究」序論(5)	共著(寺島隆吉、岩間龍男、寺島美紀子)	2004 年3 月	『岐阜大学教育学部研究報告:人文科学』第 52 巻第2号: 339-366.
教育における民営化の功罪:「日中国際理解教育シンポジウム」で考えたこと	単著	2005 年7 月	『POLICY FORUM』23 号: 2-3.(2005 年7月号)
ブランド企業黒書	解説	2005 年7 月	明石書店: pp.365-379
「Peaceful Tomorrows」と「拉致家族の会」の運動:その共通点と相違点	単著	2006 年1 月	『POLICY FORUM』26 号: 4.(2006 年1月号)
英語の歌、活用マニュアル「生徒をのせるための DOs & DON'Ts」	単著	2006 年6 月	『STEP 英語情報』2006 年5・6月合併号: 22-23頁
岐阜県「多文化共生シンポジウム」2006 報告書	編集・執筆	2006 年8 月	岐阜県「多文化共生シンポジウム」2006 報告書
「言葉の使い手に聞く: User's Eye 翻訳 X 英辞郎」	単著	2007 年2 月	『英辞郎』第 3 版: 56-57